

ShinEtsu

信越ポリマー株式会社

第2四半期
第59期 **報告書**

2018年4月1日~2018年9月30日



証券コード:7970

株主の皆様へ



代表取締役社長
小野 義昭

主力事業で成長領域の拡大に取り組み、
持続的成長の実現を目指します。

■ 当中間期の事業概況について

半導体業界の活況が追い風となり、自動車業界の需要も堅調に推移して、増収増益を達成。

当中間期は、半導体関連容器と自動車関連入力デバイスの出荷が好調に推移するなど、前年同期比で増収増益を達成することができました。予想以上に半導体関連容器の需要がありましたが、工場でのフル稼働を継続することによって対応する一方、糸魚川工場（新潟県）の拡張を行い、2019年1月には現在の約20%の増能力ができる見込みです。また、自動車の自動運転技術の進歩やEV化の加速を背景に、自動車関連入力デバイスの需要が伸びました。半導体製造装置を含む工作機械のケーブルや自動車用樹脂部品に採用されている機能性コンパウンド、耐熱性が求められる車載用電子部品に使われる導電性ポリマーなども収益を伸ばしました。

■ 連結業績ハイライト

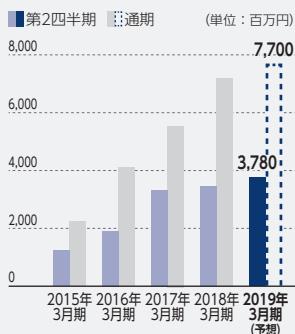
売上高

42,306
百万円



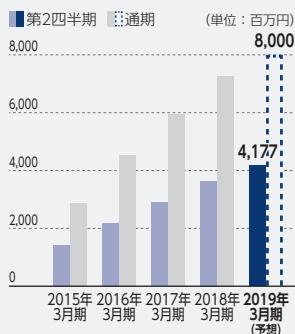
営業利益

3,780
百万円



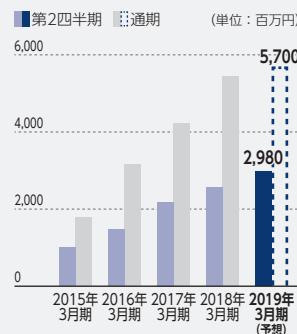
経常利益

4,177
百万円



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2,980
百万円



■ 中長期の事業方針について

2021年3月期の創立60周年に「売上高1,000億円・経常利益100億円」の達成を目指し、社会的に価値を提供できる企業としての土台づくりを一層強化してまいります。

当社の事業の大きな柱は自動車用キースイッチをはじめとする電子デバイス事業、半導体関連容器を中心とする精密成形品事業、ラッピングフィルムなどを扱う住環境・生活資材事業です。60年の次の10年、20年と持続的に成長していくため、現在の主力製品である半導体関連容器と自動車関連入力デバイスに注力しつつ、これら2つのような力強く、骨太の事業製品を5つは持ちたいと考えております。なかでも精密成形品事業の医療機器関連製品、住環境・生活資材事業の素材系製品を確実に成長させて収益基盤を強化していく考えです。

同時に海外拠点を含めて、それぞれの拠点における研究開発や製造などの役割を明確にし、徹底した効率化を進めて生産性向上を図り、お客様のあらゆるニーズに対応できる体制づくりを進めてまいります。たとえば、インドでは自動車産業の成長が著しく、欧州への輸出拠点としても好立地なことから、同国（チェンナイ市近郊）の生産拠点を拡充すべく準備を進めております。

■ 株主配当について

年間配当予想は1株当たり4円増配の16円とさせていただきます。

2019年3月期は2期連続の増収、6期連続の増益を達成し、さらに積極投資による持続的成長を実現してまいります。

利益還元については、基本的に安定的な配当を継続する方針です。短期的な好業績に連動させるのではなく、当社の中期的な成長という視点も踏まえた還元に努めてまいります。

今後の経営環境には不透明な要素もありますが、「営業」「開発」「生産」の三位一体で、業績と企業価値のさらなる向上に取り組みます。株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りたく存じます。

2019年3月期業績予想

売上高	83,000百万円 (前期比4.6%増)
営業利益	7,700百万円 (前期比6.8%増)
経常利益	8,000百万円 (前期比10.0%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,700百万円 (前期比4.5%増)

配当金の推移



業績についての詳細は
こちらをご覧ください



<https://www.shinpoly.co.jp/ir/highlight.html>

事業の概況

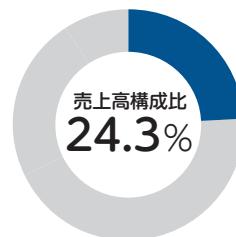
電子デバイス事業

売上高

10,280百万円
(前年同期比6.0%増)

自動車関連入力デバイスを中心に順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回りました。

この結果、当事業の売上高は102億80百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は6億96百万円（前年同期比18.1%減）となりました。



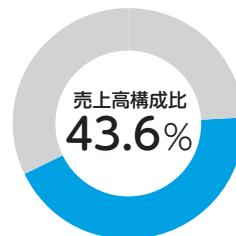
精密成形品事業

売上高

18,452百万円
(前年同期比10.0%増)

半導体関連容器の出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

この結果、当事業の売上高は184億52百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は27億64百万円（前年同期比10.2%増）となりました。



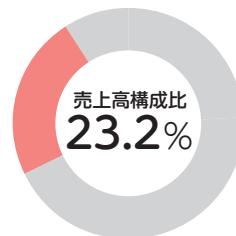
住環境・生活資材事業

売上高

9,790百万円
(前年同期比7.6%増)

機能性コンパウンドの出荷好調、外装材関連製品の新規取引先への拡販や新規事業製品拡販などにより、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

この結果、当事業の売上高は97億90百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は1億89百万円（前年同期比134.4%増）となりました。



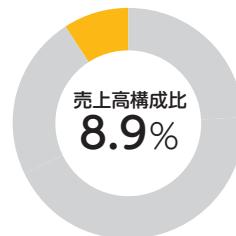
その他

売上高

3,782百万円
(前年同期比10.3%増)

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の受注が増えました。

この結果、その他の売上高は37億82百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は1億29百万円（前年同期比336.5%増）となりました。

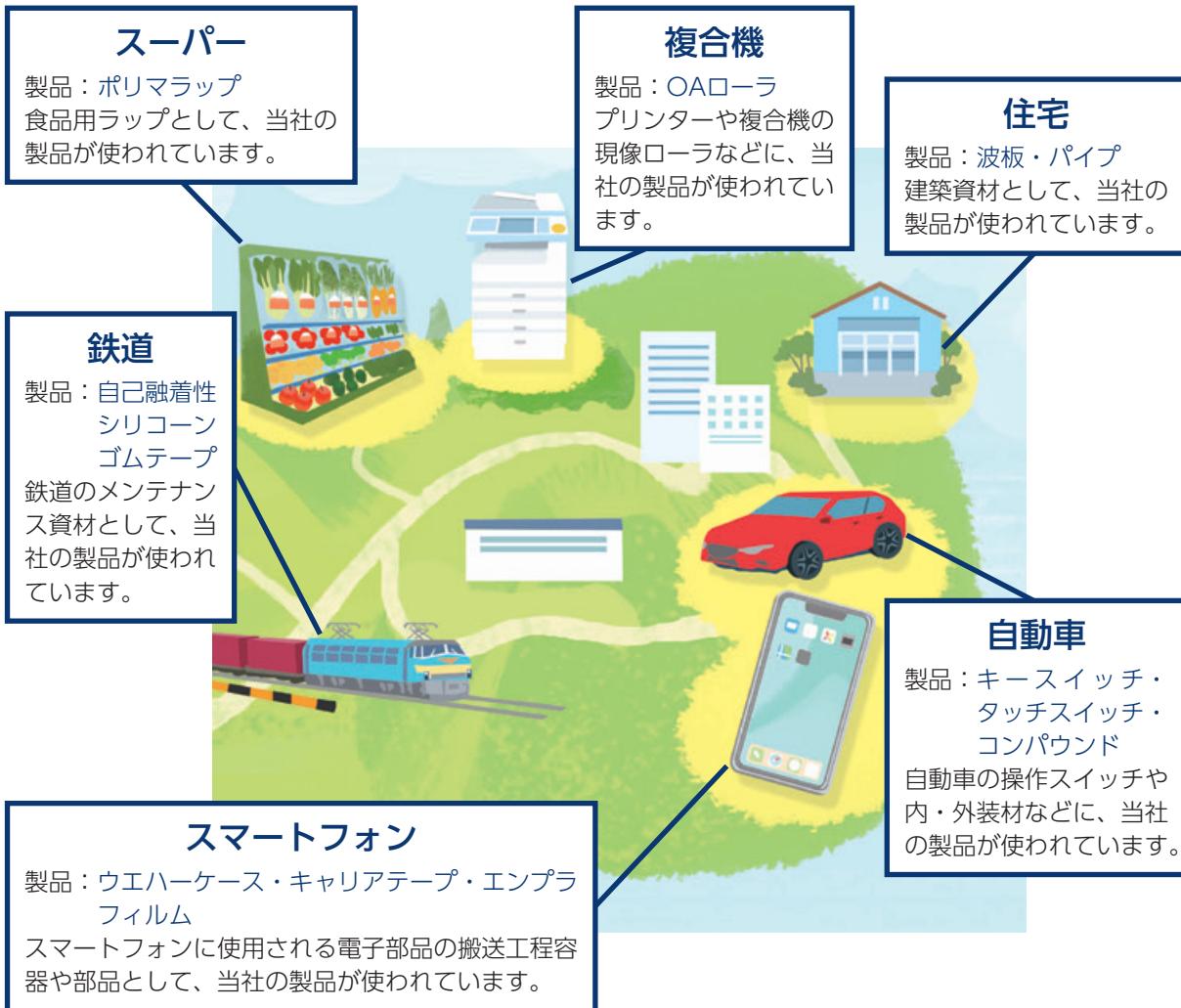


【特集】 こんなところに信越ポリマーの製品

～信越ポリマーは、より良い暮らしや社会、産業の未来をカタチづくりします～

信越ポリマーの技術展開の核となる基盤技術は、シリコン、各種樹脂、導電性素材をキーマテリアルとした材料・配合、設計、加工プロセス、評価・解析です。

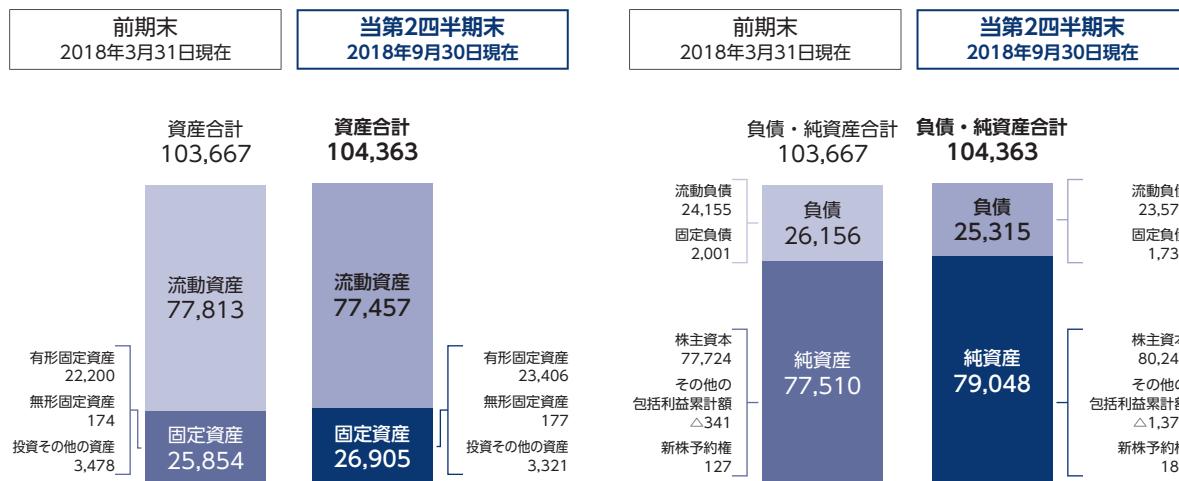
これらの基盤技術を応用・融合して多角的に展開することで、幅広い分野でお客様の多様なニーズに合わせた高付加価値製品を提供し、より豊かな暮らしや社会、産業をカタチづくりします。



連結財務諸表の概況

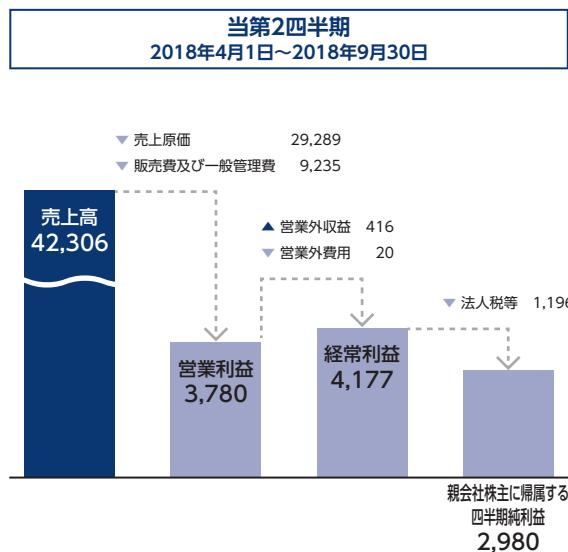
連結貸借対照表の概要

(百万円)



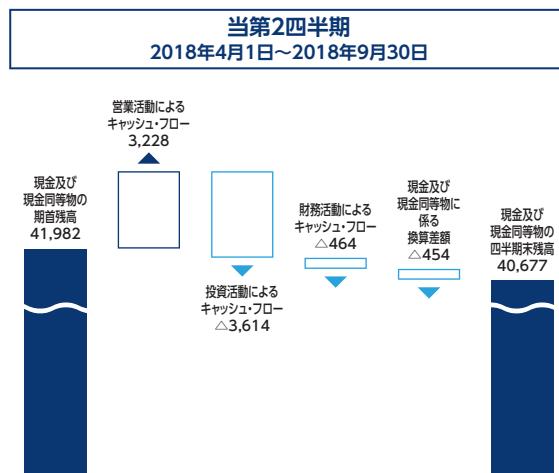
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



トピックス

1 糸魚川工場西棟竣工式

当社は、半導体関連市場の拡大を見据え、主にシリコンウエハーの搬送用容器を生産している糸魚川工場の生産能力増強のために、工場西棟を増築し、7月30日に竣工式を執り行いました。シリコンウエハーの搬送用容器の需要増加に備え、より一層の安定供給ができる体制を確立し、半導体関連事業の拡大を目指してまいります。



2 ポリマエースTG



当社では、シリコンゴム加工品の応用展開を進めてまいりましたが、東日本旅客鉄道株式会社様との共同研究開発成果の一つである、シリコン製の接着シート『ポリマエースTG』を7月から販売しています。道具を使わずに、貼って、巻くだけで、小型デバイスを簡単に工具や備品などに固定でき、また、耐候性に優れていることから屋外でも使用できる、簡易施工・長寿命のシリコン製品です。

株主アンケート結果報告

第58期報告書においてお願いいたしました「株主アンケート」に多くの株主の皆様からのご回答を頂戴いたしました。心から御礼申し上げます。株主の皆様からいただきましたご意見・ご助言を真摯に受け止め、今後の本報告書の充実、またSR・IR活動に活かしてまいります。

皆様のご意見に関する当社の回答

- Q** 現金を何のためにこれほどため込んでいるのかわからない。もっと配当に回すべき。
- A** 当社では、株主の皆様への利益還元を重要課題の一つとして認識しております。経営基盤の強化と持続的成長による企業価値の向上を目的として、財務体質の健全性並びに研究開発投資や生産設備投資及びM&Aを含む資本提携などのための資金を確保しつつ、中期的に安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。当期の中間配当金は、この基本方針を踏まえ、業績と今後の事業展開などを総合的に勘案し、前中間期に比べ2円増配の1株につき8円とさせていただきます。今後も、経営基盤の強化と業績の向上に努めるとともに、持続的成長に向けた投資などを実施してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社の概況 (2018年9月30日現在)

商号	信越ポリマー株式会社 (Shin-Etsu Polymer Co.,Ltd.)
本社所在地	東京都千代田区神田須田町一丁目9番地
設立年月日	1960年9月15日
資本金	11,635,953,759円
従業員数	1,043名(連結4,549名)
事業所	大阪支店、名古屋支店、福岡支店、 仙台営業所、広島営業所、札幌営業所
支店・営業所	東京工場、児玉工場(以上、埼玉県)、 南陽工場(山口県)、塩尻工場、 長野分工場(以上、長野県)、 糸魚川工場(新潟県)
工場	

株式の状況	
発行可能株式総数	320,000,000株
発行済株式総数	82,623,376株
株主数	9,866名

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7970

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差し上げていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問合せ TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告(https://www.shinpoly.co.jp/) なお、やむを得ない事由によって、電子公告 によることのできない場合には、日本経済新聞 に掲載して行います。

株式に関するお手続き

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 *トラストラウンジでは、お取扱 できませんのでご了承ください。 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店 ブラネットブース(株式会社み ずほ銀行内の店舗)でもお取扱 いたします。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 株式会社みずほ銀行	本店及び全国各支店 本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では、取次のみとなります。)
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元未満株式買増・買取のご案内

当社では、単元未満株式(1株から99株まで)の買増制度・買取制度を導入しておりますので、ご利用ください。
お手続の詳細は、上記記載のお取扱店にお問合せください。

信越ポリマー株式会社

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-9

電話 (03) 5289-3712

ホームページアドレス <https://www.shinpoly.co.jp/>



サステナビリティレポート2018発行

サステナビリティレポートでは、当社グループの地球環境保全や環境経営に関する考え方、取り組みと実績を中心に、またCSRにかかわる活動についても報告しています。
サステナビリティレポートはこちらからご覧ください。

<https://www.shinpoly.co.jp/environment/report/>

